



# な が れ



## 200 名の子供たちが輝く戸三小に！

校長 立野 文雄

この4月から校長として着任しました<sup>たつの</sup>立野文雄です。新宿区立四谷小学校から異動してまいりました。4月1日、校門をくぐると校庭の満開の桜が迎えてくれました。久しぶりに見る戸三小の美しい桜の花に目を奪われ、懐かしい気持ちでいっぱいになりました。私は、平成22年3月までの12年間、戸三小で教諭、主幹教諭として在職していました。この度、ご縁あって戸三小の校長として戻ってくることができ、大変嬉しく思っています。担任時代に、素直で温かい心をもった子供たち、協力的で支えてくださる保護者・地域の皆様のお陰で、私自身も楽しく充実した戸三小の日々を過ごすことができました。戸三小は、私の教員としての「ふるさと」です。また、あの戸三小のすてきな校歌が歌えることを嬉しく思っています。戸三小への異動が決まったときに、「♪ 神田の流れ 水清らかに 富士は野末に 真白くそびゆ ♪～」のフレーズがすぐに出てきました。最後まで覚えていたので、担任時代から年月は経ちましたが、戸三小への思いが変わらなく続いていたことを実感しました。

今年度、本校は新1年生40名を迎え、全児童数200名でスタートします。新1年生と新2年生は2学級編成となり、全部で8学級です。戸三小の良き歴史と伝統を引き継ぐとともに、さらに発展させていきたいと思ひます。子供たち一人一人を大切に、子供たちが輝く戸三小になるように、教職員一同、努めてまいります。ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## 平成から令和時代へー新しい時代の幕明けー

4月1日、「令和」という新元号が発表されました。「令和」という言葉は、現存する日本最古の「万葉集」の「<sup>うめはな</sup>梅花の歌三十二首」序文「<sup>れいつ</sup>初春の令月にして、<sup>よ</sup>気淑く風<sup>やわら</sup>和ぎ～」から引用されました。日本の書物（国書）が元号の出典となったのは初めてです。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ。梅の花のように、国民一人一人が明日への希望をもって花を咲かせることができる時代に」との願いが込められているそうです。



報道によると、外務省は、新元号「令和」の英語の意味について「beautiful harmony（美しい調和）」とすることに決定したそうです。次代を担う子供たちは、まさに新しい「令和」時代を生きていきます。これまで以上に、平和で希望のもてる、美しい調和のある日本社会になってほしいと願ひます。新元号は、皇太子様が即位される5月1日午前0時に改められることになっています。

## 地域協働学校として

本年度も地域協働学校として、学校運営協議会でご意見、提言をいただきながら学校運営を進めていきます。また、支援組織である学習支援部（吹奏楽団の見守り・支援、夏休み・放課後等学習支援等）、環境美化支援部（校庭草花の手入れ、植栽、稲の栽培等）、安心安全支援部（「とまっぷ」の活用、登下校の見守り、あいさつ運動等）の活動について地域・保護者の皆様のご支援、ご協力をいただきながら円滑に進めていきたいと思ひます。無限の可能性を秘めた子供たちを見守り、育てていけるように、どうぞよろしくお願いいたします。

